

4章3節 使える【ワークシート 4-3-2】

ミニ授業での自分や仲間の説明や表計算ソフトの操作について評価しよう。

グループメンバーの評価を書こう					
氏名(誰の発表を聞いたか)					
評価①					
評価②					
評価③					

グループメンバーからの評価（自分の分）を集めておこう					
評価してくれたメンバーの氏名					
評価①					
評価②					
評価③					

表計算ソフトのミニ授業に関するルーブリック

評価項目	A:十分満足	B:概ね満足	C:要努力
①表計算ソフトの基本を人に教えることができる	表計算ソフトの基本に関して、操作手順やなぜそのような計算式を書くのかなど、理由も含め、明確、かつ、わかりやすく説明されている。	表計算ソフトの基本に関して、なぜそのような手順になるのかなどの説明は曖昧だが、正しい操作を教えることができている。	表計算ソフトの基本に関しての正しく教えることができていない。
②表計算ソフトの基本操作ができる	問題に応じた計算式や処理を自分で調べて正しい計算式を組むことができ、また、様々なグラフを利用することができる。	簡単な計算式や関数などを用い、典型的なデータ処理やグラフ化であれば正しく利用できる。	必要な計算式の組み立てやグラフ化などの手順が正しくできていない。
③表計算ソフトを使用した効率的な情報処理ができる	関数との連携も含め、絶対セル参照、相対セル参照の使い方を正しく理解し、行、列の両方に渡る面データのコピーも1つの計算式で表すことができるなど、能率よくデータ処理ができる。	関数との連携も含め、絶対セル参照、相対セル参照の使い方を正しく理解し、行、または、列のどちらか一方であればセルのコピーにより能率よくデータ処理ができる。	計算をコンピュータにさせずに人間が行う、あるいは、セルのコピーをしたあとでコピー後のセルの計算式を1つずつ修正するなど、表計算ソフト本来の能力をいかし切れていない。